

船舶事故等調査報告書

平成23年5月26日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011横第27号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成22年7月25日 03時00分ごろ	
発生場所	千葉県銚子市犬吠埼東北東方沖572海里付近 (概位 北緯37°08' 東経152°33')	
事故等調査の経過	平成23年2月10日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報	
	漁船 第五 <sup>あんたく</sup> 安徳丸、100トン 128448、個人所有 機関長、四級海技士（機関）	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	<p>本船は、船長及び機関長ほか18人が乗り組み、犬吠埼東北東方沖において航行中、平成22年7月25日03時00分ごろ、主機の減速機（以下「減速機」という。）の軸受潤滑油圧力低下警報が鳴った。</p> <p>本船は、減速機が点検された結果、クラッチ嵌入時の作動油圧が約2.1MPa から約2.5MPa まで上昇し、逆に軸受潤滑油圧がほとんど0の状態となったため、主機の運転ができないと判断され、僚船によって宮城県気仙沼港にえい航された。</p>	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 不詳 海象：海面状態 穏やか	
その他の事項	<p>減速機は、油圧湿式クラッチを内蔵し、同機付潤滑油ポンプで加圧された潤滑油が、高圧調圧弁によって油圧調整され、高圧油がクラッチの作動油として、逃がし側の低圧油が軸受の潤滑油として使用されるようになっていた。また、クラッチの作動油系統には、安全弁が設けられていた。</p> <p>帰港後、減速機が精査された結果、減速機は、高圧調圧弁のバネが折損して弁が固着していることが判明した。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし あり なし</p> <p>本船は、犬吠埼東北東方沖を航行中、減速機の潤滑油系統の高圧調整弁が損傷したため、軸受への潤滑油の供給が途絶えたことにより、主機の運転ができなくなったものと考えられる。</p> <p>高圧調圧弁のバネが折損したのは、経年使用による可能性があると考えられる。</p>
原因	本インシデントは、夜間、本船が、犬吠埼東北東方沖を航行中、減速機潤滑油系統の高圧調整弁が損傷したため、減速機軸受への潤滑油の供給が途絶え、主機が運転できなくなったことにより発生したものと考えられ	

る。